

田代中2年生10名が立志式で決意表明 富尾大地選手が母校の後輩を激励

かつての「元服」にあたる立志式が、1月31日に田代中学校で行われ、2年生10名がこれまでの自分を振り返り、今後の決意や夢を発表しました。式典後は、卒業生でプロサイクリングチームに所属する富尾大地選手が講演。自分自身の夢や経験を交えながら「目標達成に向けて今の自分たちにできることを考えながらと取り組んでほしい」と後輩の門出に激励の言葉を贈りました。



講演後、生徒全員に直筆サイン入りポストカードをプレゼントした富尾選手。裏にはプロフィールや戦歴が記載。

鹿児島国体をダンスで盛り上げよう！ 大原小が肝属地区を代表して出場

ダンスで鹿児島国体の普及・啓発を図るイベント「ゆめ～KIBAIYANSE～ダンスコンテスト」が開催され、大原小学校の児童16名が、肝属地区5チームの代表として決勝戦に進出。10月20日に鹿児島アリーナで国体ダンスを披露しました。また、県内7地区から各1チームが選出される「地区特別賞」に田代小学校が選ばれ、12月17日にぐりぶーが同校を訪れ表彰状が手渡されました。



ダンスを撮影した映像を元に事務局が審査して地区代表に選出。練習の成果を出し切った子どもたちはさらに強い絆を深めました。

地域のコミュニティ活動が高く評価 宿利原地区が農林水産大臣賞受賞

旧宿利原中学校を活用した交流の場づくりや、干し大根の産地をPRしようとした大根やぐらライトアップなどの取り組みが、全国的に高い評価を得て農林水産大臣賞を受賞しました。12月10日、熊本市で開催された表彰式に出席した笑喜和則館長は、「地域の元気は人の多さだけではない。地区住民一人ひとりの役割を増やすことで地域力向上に繋がりたい」と決意を強めました。



旧宿利原中を活用した「やどりほらマルシェ」や、診療所開所に合わせて毎週木曜に開催している「お茶のふるまい」も昨年スタート！

100年以上続く田代地区の伝統行事 無病息災を地域で願うセツガイ

1月31日から2月3日にかけて、田代地区6カ所でセツガイ行事が行われました。1年間の五穀豊穡、無病息災などを願って100年以上前から行われている伝統の地域行事で、上部地区では朝から地区住民総出で竹を組み上げ、やぐらを作成。夕方には60人以上が集まり、厄年や還暦の方が点火すると勢いよく燃えながら竹の弾ける音が響き渡り、地域全体の厄払いとなりました。



竹の弾ける大きな音が鬼を追い払うと言われ、毎年節分の時期に開催。「季節変わり」が由来となって「セツガイ」と呼ばれています。



令和2年度の地籍調査について

住民生活課 ☎ 25-2511

調査地区の関係対象者には3～4月に案内文書を送付予定

地籍調査とは、一筆毎の土地所有者、地番、地目を調査して境界の位置を測量し、正確な地図、面積及び現況に合った地目に改める事業です。令和2年度の地籍調査予定地区は以下のとおりです。詳細については、3～4月に対象となっている地区の関係者へ案内文を送付いたします。実際の現地調査は、令和2年7月頃から開始する予定です。

令和2年度調査地区 / 面積 / 筆数

- 田代地区① ▶ 0.84km² / 486筆
- 田代地区② ▶ 0.70km² / 525筆
- 田代地区③ ▶ 0.81km² / 218筆

※事業費の縮小等により調査地区を変更する場合があります。

地籍調査事業の進捗率（令和元年度終了時）

区分	全体	大根占地区	田代地区
全体面積	163.15km ²	85.34km ²	77.81km ²
除外面積 (国有林等)	56.63km ²	23.72km ²	32.91km ²
要調査面積	106.52km ²	61.62km ²	44.90km ²
令和元年度終了時 実施済み面積	93.56km ²	61.62km ²	31.94km ²
令和元年度終了時 進捗率	87.83%	100%	71.14%

- 年間の立会日程計画を作成し、立会依頼書を送付します。
- 台帳名義人の変更(名義変更)はできません。
- 分筆・合筆・地目変更・住所変更はできます。(一定の条件が必要になります)
- 調査地区内、またはその周辺に測量用の杭(境界杭とは別)を打たせていただきます。
- 測量時に見通しがきかない場所は、雑木等の枝払いをする場合があります。

－調査後の注意点－

調査時に境界に立てられる「境界杭」は境界を示すものなので、抜かないように管理してください。また、調査が終了した地区で合筆や分筆が必要になった場合は、個人で行ってください。

令和2年度以降 地籍調査実施予定区域

